

2014年7月1日  
在リオデジャネイロ日本国総領事館

## リオ州の安全情報(2014年28号)

### ワールドカップ開催期間中の邦人被害

6月30日正午現在までに当館が把握しているワールドカップ開催期間中の邦人被害は以下の通りです。

1. 6月15日(日)午後6時30分頃、マラカナンスタジアム入り口付近において、アルゼンチン・ボスニア戦を訪れた邦人観戦客が、人混みの中、何者かにデジタルカメラ一台(ソニー製)をすり盗られた。
2. 6月15日(日)午後10時頃、マラカナンスタジアム付近において、アルゼンチン・ボスニア戦を観戦し終えた邦人観光客が、ベルトに繋いであったスマートフォン一台をすり盗られた。
3. 6月17日(火)午後7時頃、コパカバーナ地区の地下鉄シケイラ・カンポス駅構内において、邦人観光客が、ズボンポケットに入れていたiPhone一台をすり盗られた。
4. 6月18日(水)午後5時頃、マラカナンスタジアム付近において、スペイン・チリ戦を訪れた日本人観戦客が、上着のポケットに入れていたスマートフォン一台をすり盗られた。
5. 6月22日(日)午後5時頃、在留邦人が、コスメ・ベリヨ地区から南地区方面行きのバスに乗車していたところ、気がつかない間にバックのチャックを開けられ、身分証等が入った財布をすり盗られた。
6. 6月22日(日)午後8時頃、セントロ地区カリオカ通りにおいて、邦人観光客が、少年2名にナイフを使って脅され、所持していたカバンの中から、現金、スマートフォン等を強取された。
7. 6月23日(月)、午後7時頃、ラパ地区メンデサ通りのレストランにおいて、日本人観光客が妻と食事している間に、ノートパソコンとiPadの入ったカバンを盗まれた。

#### 【被害に遭わないために】

マラカナンスタジアムを観戦に訪れた邦人が高級カメラやスマートフォンを盗まれるケースが多く見られます。外部から判別できる状態で高級カメラや携帯電話を携帯することは非常に危険です。貴重品は人目に触れないよう、必ずカバンの中に収納して移動しましょう。